

HINA UOCHI

NEURONAL MECHANISM FOR CRITICAL PERIOD UNIT

魚地 妃夏

臨界期の神経メカニズム研究ユニット



BEFORE

AFTER

3. Please share your thoughts about your experience as an OIST Research Intern.

Spending an extended period away from Tokyo during the summer break and immersing myself in OIST's beautiful natural environment and outstanding facilities made every day truly meaningful. I especially appreciated that the student dormitories were located on campus, which created an ideal environment for staying focused on my research. Everyone in the lab welcomed me warmly, and my supervisor in particular provided tremendous support and guidance throughout the internship.

If I were to suggest one improvement, it would be to create more opportunities for Keio students to connect with one another. During this internship, we rarely had the chance to meet as a group, so an event or activity that helps strengthen the network among Keio participants would have been beneficial.

AUGUST 1- OCTOBER 20, 2025

2025年8月1日 - 10月20日

1. このプログラムに応募しようと思ったきっかけは何ですか？このプログラムをどのように知りましたか？

昨年、OIST-KEIO インターナショナル・リサーチ・サマーキャンプに参加した際、OIST の優れた研究設備や英語を話す環境に深く感銘を受けました。また、沖縄の美しい自然と人々の温かさに惹かれました。こうした経験から、今年も OIST で研究インターンシップを行いたいと強く思い、今回このプログラムに応募しました。

2. インターンシップ期間中の典型的な1日はどのようなものでしたか？

平日はほとんどの時間を研究室で過ごしていく、大体午前9時30分頃から夕方まで研究に取り組んでいました。インターンシップの終盤には、19時を過ぎても研究室に残る日もありました。研究を終えて寮に戻ると、慶應の友人たちとドライブに行ったり、ルームメイトと話したり、個人的な調べ物やリラックスしたりして静かな時間を過ごすこともありました。

週末は、一日中沖縄を巡って観光やマリンアクティビティを楽しんだり、料理・洗濯・掃除といった日々の家事を片付けたりして過ごすことが多かったです。

全体として毎日がとても充実しており、東京で暮らしているだけでは決して経験できないようなことを体験することができました。

3. プログラムに参加した感想をおしえてください。(良い点、改善できる点など含めて)

夏休み期間に東京を離れ、OISTの美しい自然環境と優れた施設に没頭した日々は、毎日が本当に有意義なものとなりました。特に学生寮がキャンパス内に位置していて研究に集中できる理想的な環境が整っていた点が大変ありがたかったです。研究室のみんなが温かく迎えてくれ、特に指導教員からはインターンシップ期間を通して非常に手厚いサポートと指導をいただきました。

改善点を一つ挙げるとすれば、慶應学生同士の交流機会を増やすことです。今回のインターンシップでは参加者全員が集まる機会がほとんどなかったため、参加者同士のネットワーク強化につながるイベントや活動があれば良かったと思います。